

古民家は本当に住みにくい？

室内熱環境と住まい方から考える



古民家カフェなどが人気を集める一方で、古民家に住むとなると「寒い」「暑い」「隙間風が吹く」など、室内環境への不満の声が多く聞かれます。

多くの古民家改装物件では、エアコンなどを導入し、室内の熱環境を現代風に変えています。エアコンなしで暮らしていた、昔ながらの日本の住居や住まい方は今後失われるほか道はないのでしょうか。

今回は、大蔵谷地区と香川県宇多津町で近年実施した、古民家における室内熱環境の調査結果をご紹介します。今後の古民家のあり方について考えます。

発表者 /

福島 あずさ 神戸学院大学人文学部講師

会場 /

大塩家 地域研究センター明石ハウス (明石市大蔵八幡町 5-23)



参加費無料
予約不要

アクセス /

- バス：JR明石駅より神姫バス「黒橋」下車、徒歩9分
- 電車：山陽電車「大蔵谷駅」下車、徒歩5分
JR「明石駅」下車、徒歩15分(南口より国道2号線を東へ)
- 車：国道2号線の黒橋東交差点を南に曲がり、80メートルほど進んだ右側にコインパーキングがあります
(有料：1時間100円)

2016 **10/20** 木

18:00 ~ 19:00 (17:30開場)

お問い合わせ /

神戸学院大学地域研究センター

☎ 078-974-4232 (火・水・金) <http://frb@human.kobegakuin.ac.jp>

